



プロジェクト名称

まちラボおおみやプロジェクト

プロジェクト活動概要

大宮のまちづくりを考えるためのコミュニティ・ステーションである「まちラボおおみや」を、地域に関わっているさまざまな団体と連携しながら、より市民に役立つ施設にすることを目的としています。そのために、大宮のまちづくり関係者の方々とのつながりづくりや、学生まちづくり団体の設立などに向けて取り組んでいます。今年度のプロジェクトテーマとしては《大宮のまちづくり貢献のための「学」の基盤づくり》を掲げています。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 他大学とのまちづくり団体である（仮称）OM リーグを設立する
- ② OM リーグの Facebook ページの「いいね！」の数を 100 にする
- ③ OM リーグの所属学生を 20 人にする

プロジェクトの初年度では《大宮のまちづくり貢献のための「学」の基盤づくり》をテーマに位置づけているため、上記の 3 点を目標としていました。しかし、学生まちづくり団体の設立に向けた他大学との交渉が難航しており、本団体の目標は現在のところ達成できていません。

そのため現在は、2016 年 9 月度にも報告したとおり、目標達成に向けて取り組みつつ、大宮のまちづくり関係者の方々とのつながりづくりを進めています。10～12 月にかけては「まちラボおおみや」も含まれている宮町一丁目のまちづくり活動に参加しており、大宮地区における社会貢献活動に努めています。なお、宮町一丁目における活動は来年以降も継続していく予定です。



活動状況報告&活動写真など

活動期間：2016年10月1日～12月31日

◆宮一活性化研究会ワークショップ

(実施日：2016年10月14～15日 / 12月2～3日)



【写真1】会場の様子



【写真2】ワークショップの様子ー1



【写真3】ワークショップの様子ー2



【写真4】各班のとりまとめの発表

数多くの路線が通っている大宮駅は、東日本の玄関口として位置づけられている。その中でも「まちラボ おおみや」も含まれている宮町一丁目は駅東口の地区であることから、まちづくりをしていく上で重要な場所となっている。そのため「宮一活性化研究会ワークショップ」というまちづくり活動を行うことで、住民の意見を把握するとともにまちづくりの方針について決めていった。10月および12月のワークショップはいずれも「まちラボおおみや」にて行われ、住民を対象として、市役所・民間企業・本団体などが連携して開催した。住民の方々は、ポストイットや白地図を用いながら「まちの課題の共有（10月度）」と「まちの将来イメージの共有（12月度）」について話し合った。来年のワークショップでは、宮町一丁目の将来イメージを実現させるための進め方をテーマにする予定である。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

2016 年 9 月度の報告では、10～12 月度の活動計画・目標として、(1) 大宮のまちづくり関係者の方々のつながりづくり、(2) 大宮のまちづくりに係る活動への参加を掲げていました。今秋より開始された「宮一活性化研究会ワークショップ」での活動を通して、(1) (2) を達成することができました。来年以降も引き続き宮町一丁目に絞って活動を行うとともに、地域の人たちが「学」(大学) に求めていることを把握しつつ、まちの将来イメージの実現に向けて微力ながら取り組んでいきたいです。そして、地域に関係するさまざまな方々のメリットにつながるような団体になれるように頑張っていきたいと思っています。

まちラボおおみやプロジェクトメンバー一同